# *Kansai Geo-Symposium* 2022

**―地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム―**

## 開催および広告募集のお知らせ

主催：(公社)地盤工学会関西支部，地下水地盤環境に関する研究協議会
協賛：(公社)土木学会関西支部，(公社)日本材料学会関西支部，
(公社)日本地すべり学会関西支部，(一社)日本建築学会近畿支部，
(公社)日本地下水学会，(一社)日本応用地質学会関西支部，
(公社)日本水環境学会関西支部，(公社)土木学会岩盤力学委員会，
現場計測コンサルタント協会

地盤工学会関西支部と地下水地盤環境に関する研究協議会では，昨年に引き続き，共催で「*Kansai Geo-Symposium* 2022 －地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム－」を開催する運びとなりました．本シンポジウムを関西における地盤研究発表会のプラットホームとするため，日々埋もれがちな貴重な計測データや地盤環境に配慮した工事事例・技術開発など実務的な内容を含めて，今年も幅広い分野をテーマとしております．これらの業務に携わる多くの技術者，研究者の皆様の多数のご参加をいただきますよう，ご案内いたします．

また，本シンポジウムでは論文集に掲載する広告を募集いたします．論文集は CD-ROM 版とダウンロード版で作成します．広告は PDF で論文集に収録するとともに，印刷物を当日配布するプログラムに添付します．皆様のご協力をよろしくお願い致します．

**【行事参加】**

G-CPD **ポイント**：6.5

**日　　時**：2022 年 11 月 4 日(金)　シンポジウム：9：00～17:30

**会　　場**：関西大学　100 周年記念会館（大阪府吹田市　千里山キャンパス内）
大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号
交通:阪急電鉄千里線関大前駅より徒歩 5 分

**参 加 費**：

| | |
|---|---|
| 正会員・特別会員・協賛団体の会員 | 5,000 円 |
| 学生である会員 | 2,000 円 |
| 非会員 | 7,000 円 |

**会場での新型ウイルス感染防止について**：

- コーヒーブレイク，ポスターセッション，懇親会は行いません．
- 大阪府・吹田市，関西大学，地盤工学会の感染拡大防止及びイベント実施ガイドラインに沿って開催します．会場参加の方は，マスク着用や検温，ソーシャルディスタンス確保の徹底などを行っていただき，発熱や咳・咽頭痛などの症状のある方や新型コロナウイルスに罹患し治癒していない方，濃厚接触者等として健康観察の指示を受けている方は参加をお控えください．その他，「参加者マニュアル」や会場における注意事項をご確認の上，感染防止にご協力頂くとともに，係員の指示に従ってください．
- 感染拡大の状況によっては会場参加が中止になる可能性があります．

**シンポジウム参加申込み方法**：

参加ご希望の方は，下記期日までに，地盤工学会関西支部 HP（http://www.jgskb.jp/）よりお申し込みください．その際，WEB でご参加頂く場合は，連絡事項欄に「WEB 参加」，と記載してください．**特に記載がない場合は，対面でのご参加とさせて頂きます．**また，参加方法を変更される場合は，事務局までご連絡ください．申込受付後，参加証，請求書および郵便振替用紙をお送りいたします．FAX やメールでも受付しております．なお，参加費の納入は郵便振替でお願いいたします．

**参加申込期日：2022 年 10 月 19 日（水）**

- 2022 年 10 月 20 日（木）以降の参加申込のキャンセルはお受けできません．

・　シンポジウム当日会場での現金によるお支払いは，お受けいたしません．
・　論文集の印刷物（冊子製本版）の郵送や配布はございませんので，各自必要に応じて事前にダウンロードもしくは印刷していただき，当日ご持参ください．
・　参加申込者には当日までに「参加者マニュアル」を送付します．各自熟読の上ご参加下さい．
・　Zoom ミーティング ID およびパスワードは，参加者マニュアルとともに送付いたします．
・　事前申込がない場合，当日オンラインおよび会場での参加はできません．

**【広告募集】**

掲 載 料：　1 ページ 5,500 円（税込み，A4 版）
広告原稿：　A4 版（単色またはカラー）
掲載形式：　広告は，論文集（CD-ROM，ダウンロード版）に掲載
技術展示：

・広告を申し込まれた方には，参加者の皆様とより多くのディスカッションの機会を持っていただくため，技術展示のスペースをご用意いたします．
・技術展示に出展いただいた機関は，1 機関あたり 2 名まで，シンポジウム参加費を無料とさせていただきます．
・技術展示をご希望の方は，広告申込時に下記の Kansai Geo-Symposium 2022 運営委員会事務局まで「技術展示出展希望」とご連絡ください．多数の皆様のご参加をお待ちしています．

申込方法：

広告の内容予定，技術展示ご希望の有無などをご記入の上，書面またはメールでお申込みください．申込受付後，所定のフォーマット，請求書および郵便振替用紙をお送りいたします．なお，掲載料の納入は郵便振替でお願いいたします．

**申込期限：　2022 年 9 月 21 日（水）**
**原稿締切：　2022 年 9 月 28 日（水）**

**すべての申込み･問い合わせ先：**

Kansai Geo-Symposium 2022 運営委員会
〒540-0012　大阪市中央区谷町 1-5-7　ストークビル天満橋 8 階 801 号室
電話：(06) 6946-0393　FAX：(06) 6946-0383　E-mail：office@jgskb.jp

# Kansai_Geo-Symposium2022　プログラム

## A会場（Zoomミーティングルーム1）
（ホール2:収容人数50名）

## B会場（Zoomミーティングルーム2）
（第一特別会議室：収容人数30名）

9:00　午前セッションの動作確認

9:15　開会

開会挨拶　地盤工学会関西支部　支部長 東川直正
地下水地盤環境に関する研究協議会　座長 大島昭彦

セッション開始（発表10分，質疑2分）

9:35

### セッション１（座長：神戸大学　齋藤雅彦）
**テーマ：地下水地盤災害・防災**

| | （題目） | （発表者） | （所属） |
|---|---|---|---|
| 1-1 | 大阪・神戸地域の250mメッシュ浅層地盤モデルを用いた地下水位低下による地盤沈下量の予測 | 春日井 麻里 | 大阪市立大学大学院 |
| 1-2 | 東日本大震災以前の地下水位低下工法ならびにSCP工法による液状化対策事例 | 諏訪　靖二 | 諏訪技術士事務所 |
| 1-3 | 東日本大震災以降の地下水位低下工法による液状化対策事例 | 稲葉 徹 | 五洋建設株式会社 |
| **1-4** | 無限斜面法における不飽和土中の負の間隙水圧の合力計算に関する検討 | 東元 大介 | 鹿児島大学大学院理工学研究科 |
| 1-5 | 土壌雨量指数を用いた国道における新たな異常気象時事前通行規制の提案および検証 | 村田　宗一郎 | 関西大学大学院社会安全研究科防災・減災専攻 |
| 1-6 | 盛土内の宙水・水みちに関する現地調査と水位評価の検討 | 倭 大史 | 株式会社高速道路総合技術研究所 |
| 1-7 | 濃尾平野扇状地における水田の透水特性と地下水涵養量 | 伊藤　廉真 | 岐阜大学工学部 |
| 1-8 | 室内実験によるバリア井戸設置位置と水位差変動が塩水侵入挙動に及ぼす影響評価 | 陶山　浩矢 | 九州大学工学府 |

### セッション4　特別セッション（座長：神戸高専　鳥居宣之）
**斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用に関する研究委員会**

| | （題目） | （発表者） | （所属） |
|---|---|---|---|
| 4-1 | 被覆工設置箇所における計測結果と解析的評価について | 鏡原　聖史 | 株式会社ダイヤコンサルタント |
| 4-2 | 体積含水率の減少速度に着目したすべり面深度推定手法の実斜面適用結果 | 古川　貴一 | 大阪大学大学院工学研究科 |
| 4-3 | 土中水分計の観測データに基づく雨量情報を用いた斜面の健全度診断 | 小泉　圭吾 | 大阪大学大学院工学研究科 |
| **4-4** | 土壌雨量指数の飽和度を用いたパラメータの同定期間の検討 | 林 祐妃 | 立命館大学 |
| **4-5** | 和歌山県愛賀合地区の断層破砕帯で発生した斜面崩壊と地すべり | 谷垣 勝久 | タニガキ建工 |
| **4-6** | 局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度の分析およびその住民の早期避難に向けた利活用に関する検討－令和3年7月29日の大雨時の福井市高須町の事例 | 小山　倫史 | 関西大学社会安全学部 |

11:20　休憩

11:30

### 基調講演
「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル」の改訂

品川俊介（国立研究開発法人土木研究所　地質チーム　上席研究員）

12:30　昼休憩

13:15　午後セッションの動作確認

13:30

### セッション2（座長：大阪大学　緒方奨）
**テーマ：盛土・地盤改良・計測技術など**

| | （題目） | （発表者） | （所属） |
|---|---|---|---|
| **2-1** | 河川改修工事に伴う低変位地盤改良による防災整備事業 | 武藤　友弘 | 小野田ケミコ株式会社 |
| 2-2 | 鉄鋼スラグ混合土を中詰め材とした土のう構造体による盛土耐震補強工法の基礎的研究 | 福田　勘太 | 神戸大学大学院工学研究科 |
| 2-3 | 盛土内応答加速度を考慮したニューマーク法の適用性向上について | 三好　忠和 | 西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社 |
| 2-4 | 砕石副産物から作製した土質系遮水材の液状化強度と施工性に関する一考察 | 冨田　和孝 | 神戸大学大学院農学研究科 |
| 2-5 | 転炉系製鋼スラグ混合粘性土地盤における地盤調査の適用性 | 河田　晃靖 | 東洋建設株式会社鳴尾研究所 |
| 2-6 | 大型動的コーン貫入試験の新たな周面摩擦力補正に基づく打撃回数の補正方法の提案 | 高橋　秀一 | 大和ハウス工業株式会社 |
| 2-7 | 連続加圧型加圧板法の装置改良効果における土の種類の影響 | 石 大地 | 鹿児島大学大学院理工学研究科 |
| 2-8 | SSDアルゴリズムによる画像認識技術を用いた図面要素抽出の研究 | 名下　宥佑 | 神戸大学大学院工学研究科 |
| 2-9 | 地盤工学分野における ICT 導入の現状 | 鍋島　康之 | 明石工業高等専門学校 |

### セッション5　（座長：岐阜大学　神谷浩二）
**テーマ：地中熱・地盤環境**

| | （題目） | （発表者） | （所属） |
|---|---|---|---|
| 5-1 | 地盤調査ボーリング孔を利用した透水係数推定手法の高精度化に関する検討－三重県四日市市での調査事例－ | 伊藤　浩子 | 一般財団法人地域地盤環境研究所 |
| 5-2 | 室内浸透装置による還元井の目詰まり実験 | 大谷　具幸 | 岐阜大学工学部 |
| 5-3 | 地盤情報データベースからみた被圧地下水の透水係数に関する予察的検討（その２） | 濱田　晃之 | 一般財団法人地域地盤環境研究所 |
| 5-4 | 帯水層蓄熱を利用した空調システムの研究―実性能評価と運用方法の検討 | 崔　林日 | 三菱重工サーマルシステムズ株式会社 |
| 5-5 | 熱源井戸近傍に設けた観測井の水温変化及び帯水層内の水温分布推定 | 山﨑　尊 | 大阪市立大学大学院工学研究科 |
| 5-6 | 施工時調査を考慮した自然由来砒素溶出掘削ずりのリスク評価 | 巽　隆有 | パシフィックコンサルタンツ株式会社 |
| 5-7 | 温度条件の異なるカラム試験による自然由来重金属等の溶出機構の推定 | 加藤　智大 | 京都大学大学院地球環境学堂 |
| 5-8 | 自然由来重金属等含有掘削物を盛土利用した際の降雨浸透挙動の評価と適切な覆土構造の提案 | 南口　和真 | 大阪大学 |
| 5-9 | 周辺地盤との相互作用を考慮したソイルベントナイト鉛直遮水壁内の応力分布の推定 | 乾　徹 | 大阪大学 |

15:30　休憩

15:40

## セッション3　特別セッション（座長：大阪公立大学　大島昭彦）

**夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会**

| | （題目） | （発表者） | （所属） |
|---|---|---|---|
| 3-1 | 夢洲２区土地造成工事における地盤変状の把握と管理について | 大月　一真 | 五洋建設株式会社 |
| 3-2 | 夢洲２区（万博用地）の浚渫粘土層の土質特性と埋立・地盤改良を再現した圧密沈下予測 | 一谷　浩史 | 株式会社建設技術研究所 |
| 3-3 | 夢洲２区(万博用地)の浚渫粘土層のPBD打設時の先端貫入抵抗の面的な分布 | 林口　美木 | 大阪公立大学大学院 |
| 3-4 | 数値解析による夢洲埋立海底地盤の長期変形挙動評価に関する研究 | 井宮 雅裕 | 京都大学大学院工学研究科 |
| 3-5 | ボーリングデータベースを用いた夢洲および周辺の地質地盤の特徴 | 北田　奈緒子 | 一般財団法人地域地盤環境研究所 |
| 3-6 | 長期圧密沈下予測におけるアイソタック則の適用 | 渡部　要一 | 北海道大学 |

## セッション6　（座長：近畿大学　河井克之）

**室内試験・解析・その他**

| | （題目） | （発表者） | （所属） |
|---|---|---|---|
| 6-1 | 加圧板法とマルコフ連鎖モンテカルロ(MCMC)法を組み合わせた水分特性曲線推定手法の提案 | 高田　雄大 | 鹿児島大学大学院 |
| 6-2 | 地盤材料試験に関する技能試験の特徴と留意点 | 服部　健太 | 関西地盤環境研究センター |
| 6-3 | 蒸発効率に関する室内試験における温度計測方法の改良 | 軸屋 雄太 | 日本学術振興会特別研究員DC，鹿児島大学 |
| **6-4** | FEM解析を用いたグラウンドアンカーの仰角と斜面安全率に関する一考察 | 杉井　良平 | ライト工業（株）西日本支社 |
| 6-5 | 締固めた不飽和土の一軸圧縮試験精度と締固め特性の考察について | 室田　陸治 | 鹿児島大学大学院 |
| **6-6** | 粒度試験（沈降分析）における浮ひょう読み取りの自動化への試み | 三好 功季 | 協同組合関西地盤環境研究センター |
| **6-7** | 鉛直地盤ばねによる浮き上がり・滑り現象が直接基礎の地盤ばねのエネルギー収支に与える影響 | 久保田 晃平 | 大阪産業大学大学院都市創造工学専攻 |

17:30　閉会

**※太字:オンライン発表**